

2014年4月16日

各 位

味の素製薬株式会社

米国消化器病週間(DDW)における 経口 α 4 インテグリン阻害剤 AJM300 の 臨床前期第 2 相試験データの発表について

味の素製薬株式会社(社長:長町 隆、本社:東京都中央区)は、5月4日から6日まで米国シカゴで開催される米国消化器病週間(DDW: Digestive Disease Week)2014において、当社が独自に創製、開発中の炎症性腸疾患治療薬、開発コード「AJM300」(経口 α 4 インテグリン阻害剤)の臨床前期第 2 相試験のデータに関する抄録が受理されましたのでお知らせします。本内容は米国消化器内視鏡学会(ASGE)と米国消化器病学会(AGA)の両学会によるジョイント・プレジデンシャル・プレナリーセッションの冒頭で発表される予定です。

<発表予定の試験データ> (発表日時:米国東部時間)

抄録番号	演題名(原題)	発表日時
370	活動期潰瘍性大腸炎患者を対象とした経口 α 4 インテグリン阻害剤 AJM300 の臨床前期第 2 相試験:多施設無作為二重盲検プラセボ比較試験* (AJM300, an Oral α 4 Integrin Antagonist, for Active Ulcerative Colitis: a Multicenter, Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled* Phase 2A Study)	2014 年 5 月 4 日 1:36-1:46PM 口頭発表

*無作為二重盲検プラセボ比較試験

薬の効果を客観的に判定する試験方法。治験で評価する薬剤と、外観は治験で評価する薬剤のように見えるが、成分は入っていない製剤(プラセボ)のうち、どちらを内服しているか医師も、患者さんも判らない方法で行う比較試験。

【本件の問い合わせ先】
味の素製薬株式会社 経営企画部
TEL:03-6280-9802

以上